

# 小学校プログラミング教育実施レポート

令和2年度から必修化された小学校プログラミング教育の実施の様子を紹介するものです。  
 未来の学びコンソーシアムにて実施内容の精査を行うものではありません。

学習活動名	電気の利用
学年	小学校第6学年
目標	身の回りの電気製品に興味・関心をもち、電気の性質を利用した道具の性質やはたらきを理解し、学習や生活に活かそうとしている。
教材タイプ	ビジュアル言語
使用教材	電子タグ (MESH) タブレット端末 (iPad) LED ライト
環境	児童4～5人につき、1台のiPad、1セットのMESH、LED ライトを使用
都道府県	東京都
実施校	墨田区立隅田小学校
学習活動の概要・児童の様子 (プログラミングの活動を中心に記載ください。)	<p>人感センサーによる照明は、児童にとって身近なものである。授業の導入では教師から、学校のトイレでセンサーライトがあったことを写真とともに紹介した。児童は、どのような仕組みで照明が点灯するのかを予想した。</p> <p>児童は、予想を確かめるために、電子タグに搭載された人感センサーを使って、人が近付いたときに照明が点灯する仕組みをプログラムで表した。4人を基本としたグループで話し合いながら、タブレット端末を操作し、ビジュアルプログラミングで組み合わせ、LED ライトが点灯するかを何度も試した。</p> <p>児童は、授業の終末にグループで考えたプログラムを拡大表示しながら発表をした。発表を聞いた後、身の回りで使われている人感センサーが活用されているものを考え、授業で学んだことを文章で振り返った。</p>
成果と課題	<p>身近に使われているセンサーライトは、プログラミングすることによって制御されていることを体験的に学ぶことができた。今後は、さらに興味関心を広げる指導する。</p>

